

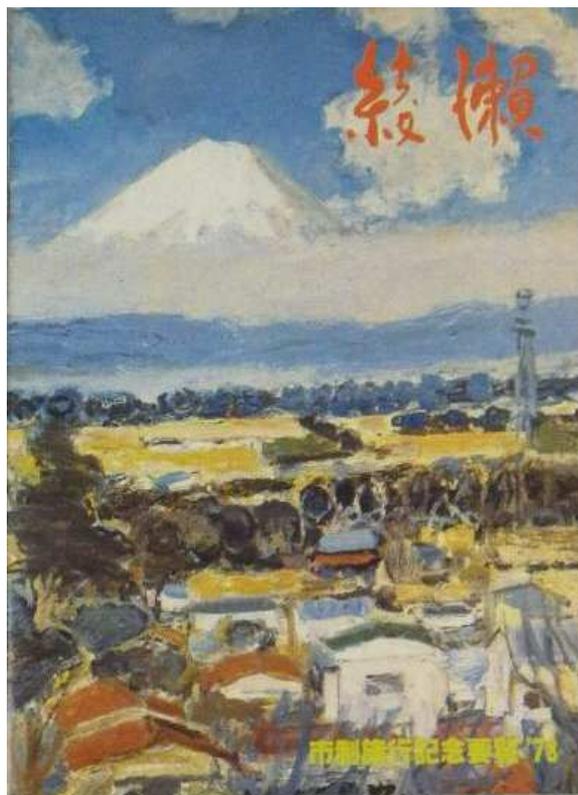
れきしのおと創刊 ～市制施行35周年を迎えて～

過去の記録・記憶をお届けする「れきしのおと」を創刊します。

綴られた歴史に触れ、歴史を感じ、これからの未来に役立つヒントを感じとっていただければ幸いです。創刊号では今年、市制35周年を迎えた綾瀬市のこれまでの歩みを辿ります。

「綾瀬」という名称が綾瀬市の歴史に初めて現れるのは、今から124年前の明治22(1889)年、上土棚村・本蓼川村・蓼川村・深谷村・吉岡村・早川村・寺尾村・小園村の8カ村が合併し、綾瀬村が誕生したときに遡ります。「綾瀬」の由来については諸説あり、河の名前をとった説や、盛んであった養蚕に関する説などがあります(詳細は『市史だより 第32号』参照)。

その後、昭和20(1945)年に村から町となり、昭和53(1978)年11月1日、町から市になりました。ここでは、市制施行から現在までに発行された市勢要覧を紹介します。それぞれの時代を映すフレーズと主要出来事から、当時の綾瀬の様子を見ていきます。



市制施行記念要覧(昭和53年)

英知と創意でユニークな都市づくり

市制が施行されたこの年、総合文化施設と消防庁舎の用地が取得されました。県立綾瀬高等学校の校舎も完成し、住みよい綾瀬市に向けたスタートがきられました。

➤ 市制施行 5 周年～30 周年記念要覧



市勢要覧（昭和 58 年）

あやせ 5 歳。

今、ひとつの節目を迎えた青年都市…。

昭和 58（1983）年

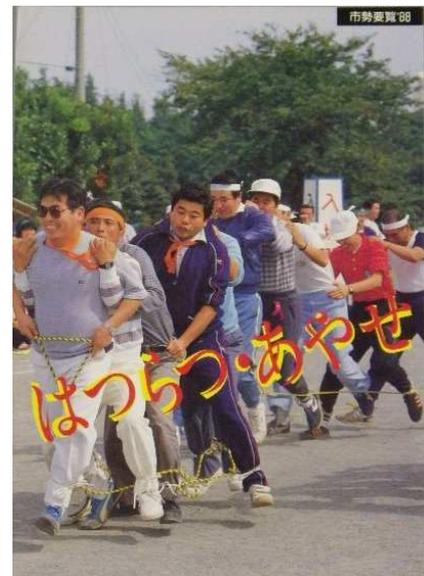
- 県立 綾瀬西高等学校開校
- 城山公園にフィールド・アスレチックコース完成

自然と文化の調和した

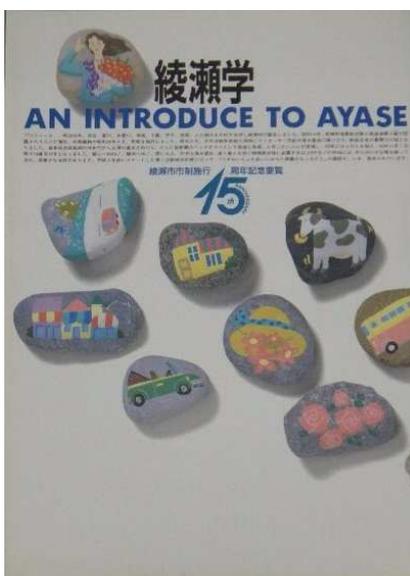
人間性豊かな都市を目指して

昭和 63（1988）年

- デイサービス開始
- 防災行政用無線放送開始
- 厚木基地騒音対策協議会発足
- 市制施行 10 周年記念に NHK のど自慢開催



市勢要覧（昭和 63 年）



市勢要覧（平成 5 年）

マイシティ 綾瀬学

平成 5（1993）年

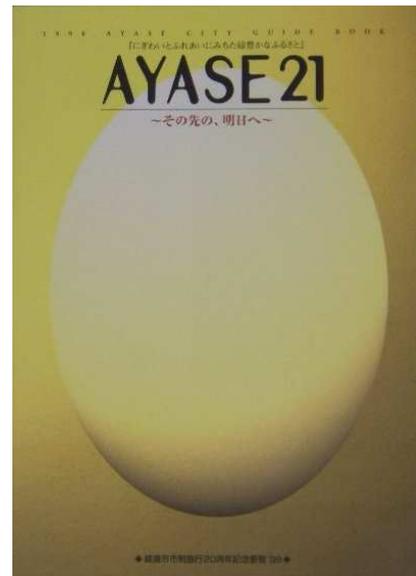
- 吉岡遺跡群から県内最古の石器群が出土
- 人口 8 万人超える

昨日・今日・明日。

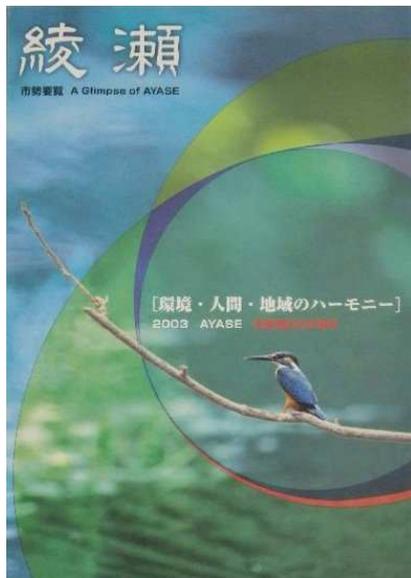
ふるさと綾瀬には美しい物語がたくさんあります

平成 10（1998）年

- 新第 1 学校給食センター完成
- 南部ふれあい会館完成
- 県内広域水道企業団綾瀬浄水場給水開始
- 都市計画道路「並塚笹山線」一部開通
- 国体空手道競技会開催
- 市制 20 周年記念式典挙行



市勢要覧（平成 10 年）



市勢要覧（平成 15 年）

環境・人間・地球のハーモニー

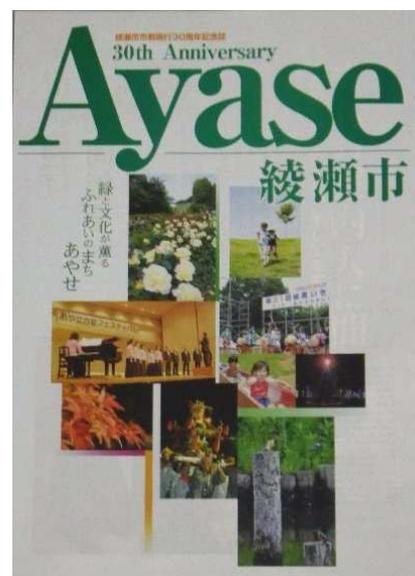
平成 15（2003）年

- 城山こみち一部開園
- せせらぎ広場全面オープン
- 綾瀬インターチェンジ設置促進連絡協議会設置

緑と文化が薫る ふれあいの街あやせ

平成 20（2008）年

- 早川城跡が県史跡に指定
- ささら踊りが県指定無形民俗文化財に指定
- 小・中学校校舎・体育館の耐震化完了
- 寺尾上土棚線 4 車線化完成
- あやせ子育て応援パスポート事業開始
- 市制施行 30 周年を迎える



市勢要覧（平成 20 年）



市勢要覧（昭和 53 年）より

昭和 53 年、綾瀬市の人口は約 6 万人。町から市になるまでの 33 年間で、人口は 1 万人から 6 万人へと増加しました。昭和 40 年までには 1 校だった小学校は昭和 52 年までに 8 校、同じく 1 校だった中学校は 3 校へと拡充されます。様々な公共施設も建築され、住みよい綾瀬が作り出されてきました。

生涯学習課では、綾瀬市の歴史に関する資料を収集し、将来へつないでいく作業を行っています。今回御紹介する市勢要覧も収集した資料の一部です。こちらは市役所生涯学習課にて閲覧することができますので、興味のある方は下記までお問合せください。

れきしのおと 創刊号 平成 25 年 11 月 1 日

編集・発行 綾瀬市教育委員会 生涯学習課 市史文化財担当 TEL0467-70-5637